

第 70 期 業務報告書

令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日



アルプス中央信用金庫

〒 396-8611 長野県伊那市荒井 3 4 3 8 番地 1

TEL (0265) 72-4171

FAX (0265) 72-4433

<http://www.alpuschuo-shinkin.jp>

ごあいさつ

会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素より格別なるご高配を賜わり心より厚くお礼申し上げます。

ここに第70期の事業概況並びに決算状況をご報告申し上げるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。



このたびの新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けているみなさまに心よりお見舞い申し上げます。また、医療現場で感染症に立ち向かっておられる関係者のみなさまに心より感謝を申し上げます。

さて、令和2年度のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて経済活動が大幅に制約され、生産活動の停滞や数度の緊急事態宣言発出による外出自粛の高まりを背景に、リーマンショック以来となる急激な景気減速に陥りました。当上伊那地域においても、飲食業など生活に密着したサービス業を中心に幅広い業種が過去に経験のないほどの打撃を受けました。本年に入り、感染の第4波の発生によりその影響は長期化しておりコロナ禍の収束が見通せないなか、地域経済は大変な苦境に立たされています。一方、米国の大規模な経済対策の早期成立や世界各国でワクチン接種が開始され景気回復への期待が強まったことなどから、本年2月には、日経平均株価が約30年半ぶりに30,000円台を回復いたしました。しかしながら、実体経済との乖離は大きく、国内におけるワクチン普及までには相当な時間を要することが想定されることから、景気の本格的な回復に向けては依然として不透明な状況が続くものと考えます。

金融業界におきましては、日本銀行による超低金利政策が長期化しており、私ども地域金融機関の収益環境は大幅に悪化いたしました。加えて、コロナ禍でデジタルライゼーションが急速に進展するなど、信用金庫を取り巻く経営環境は大きく変化いたしました。また、当金庫の営業基盤である上伊那地域は、人口減少や高齢化の進展、廃業等による中小企業数の減少など、構造的な問題が以前よりも増して深刻化いたしました。

このように大変に厳しい経営環境ではございましたが、業容面におきましては、預金積金は、政府による持続化給付金等の入金があり、個人・法人ともに堅調に推移して123億円増加の3,320億円になりました。一方、貸出金は、

個人の資金需要は低迷したものの、お取引先中小企業に対する資金繰り支援に全力を挙げて取り組んでまいりました結果、37億円増加の1,312億円になりました。業績面におきましては、金利低下による資金利益の減少に加えて、保有有価証券の償却1億99百万円の実施により業務粗利益が減少しましたが、経費削減効果によりコア業務純益が増加しました。さらに、健全性を向上するために貸倒引当金44百万円を積み増すとともに、将来キャッシュフローを厳しく見積もり店舗建物等固定資産の減損損失1億93百万円を計上した後の当期純利益2億68百万円を確保することができました。その結果、単体自己資本比率は、0.59%改善して11.06%となり財務の健全性を堅持することができました。

さて、役職員が一丸となり、お取引先の資金繰りを支え、事業継続を徹底的に支援し地域経済の回復に努めていくことを当金庫の最重要課題とし、この課題を解決していくため、本年度から当金庫の新中期経営計画『あるしん「支援力の強化と変革への挑戦」3か年計画』をスタートいたしました。昨年度、お取引先企業に対するコンサルティング機能を強化するため、企業支援室を営業統括部の配下に置く組織の改編を行い、営業店と企業支援室が一体となりお取引先企業の経営課題を把握し解決策を提案・実行していく体制を充実いたしました。新中期経営計画の初年度にあたる令和3年度は、企業支援室の人員等の体制を一段と強化し、コロナ禍収束後に向けての課題解決、伴走型支援をより一層充実させてまいります。

さらに、お客様との接点、利便性を一段と高めるため、昨年度、本部にDX（デジタルトランスフォーメーション）推進のためのプロジェクトチームを設置いたしました。金庫内のデジタル化に加えて、スマートフォン等の活用により非対面で取引が完結できる商品の検討・開発を鋭意進めており、DX推進に対しましても新中期経営計画のもと積極的に取り組んでまいります。

コロナ禍で甚大な影響を受けた地域経済の力強い回復に向けて、役職員一同、「Face To Face」でお客様と真摯に向き合い、全力を挙げてお取引先の支援を強化してまいります所存でございます。何卒、倍旧のご愛顧とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月

理事長 吉澤祥文



当金庫の概要

- 法人成立 昭和26年4月23日
- 事業開始 昭和26年6月 8日
- 出資金 10億30百万円
- 会員数 25,248名
- 本店 伊那市荒井3438番地1
- 店舗数 21店舗
- 役職員数 245名
- 預金積金 3,320億67百万円
- 貸出金 1,312億34百万円

庶務の概要

総代会

令和2年6月26日 第70期通常総代会
駒ヶ根市赤穂1293-2
アルプス中央信用金庫事務センター
3階において開催し、下記議案がすべて原案どおり承認されました。

〔報告事項〕

- (1) 第69期業務報告の件
- (2) 第69期貸借対照表、損益計算書報告の件

〔決議事項〕

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 会員の法定脱退に関する件
- 第3号議案 定款の一部変更承認の件
- 第4号議案 総代候補者選考委員33名選任の件
- 第5号議案 理事監事の任期満了に伴う選任の件
- 第6号議案 退任役員に対する退職慰労金贈呈の件

理事会・監事会

理事会 10回
(会員の異動状況承認の件、諸規程等の改訂承認の件 他)

監事会 12回

登記事項

令和2年4月7日	出資の総口数及び出資の総額	変更登記
令和2年7月9日	役員変更登記(退任・重任)	
令和2年10月19日	ナイスロード支店廃止登記	

庶務事項

令和2年4月1日	本部組織変更 営業統括部(業務推進課・企業支援室) 審査部企業支援室が営業統括部企業支援室へ	
令和2年7月1日	本部組織変更 審査部と管理法務部が統合し融資部新設	
令和2年7月20日	高遠支店が竜東支店の子店舗化 昼休業開始(高遠支店)	
令和2年9月5日	「ローンセンター」土曜日の営業開始 (土日営業体制へ)	
令和2年10月19日	ナイスロード支店廃店 昼休業開始(中川支店・小野支店・春近支店)	
令和2年11月9日	木下出張所ATMコーナー廃止	
令和3年2月4日	当金庫ホームページリニューアル	

トピックス

- 公的金融機関との連携 - 令和3年1月18日
商工組合中央金庫と「シンジケートローン業務における連携・協力に関する覚書」を締結しました。
- SDGsの取組 - 令和3年3月10日
三井住友海上火災保険㈱とSDGsセミナーを開催しました。

アルプス中央信用金庫『SDGs宣言』

SDGs達成に向けた重点的な取組み

○女性職員の総合職を増加させる。

女性職員に占める総合職の割合10% (2019年3月末0%→2030年3月末10%)



○LED切替えによる電力使用量の削減。

電力使用量25%削減



○取引先のSDGs達成に向けた、セミナー、新商品、サービスへの取組み。

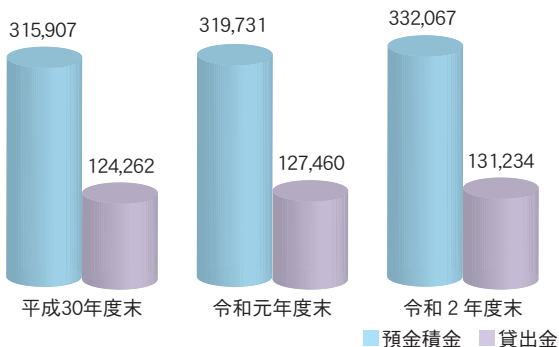
セミナー、新商品、サービス10件実施



主な経営指標の推移

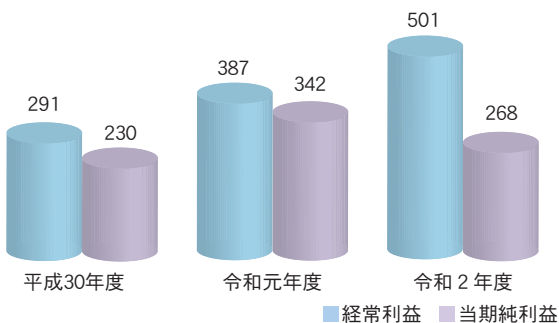
* 預金・貸出金の残高の状況

(単位:百万円)

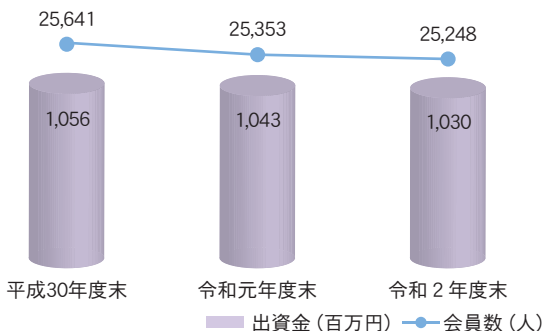


* 損益の状況

(単位:百万円)

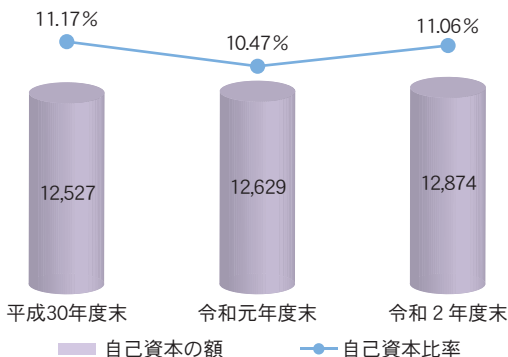


* 出資金・会員数の状況



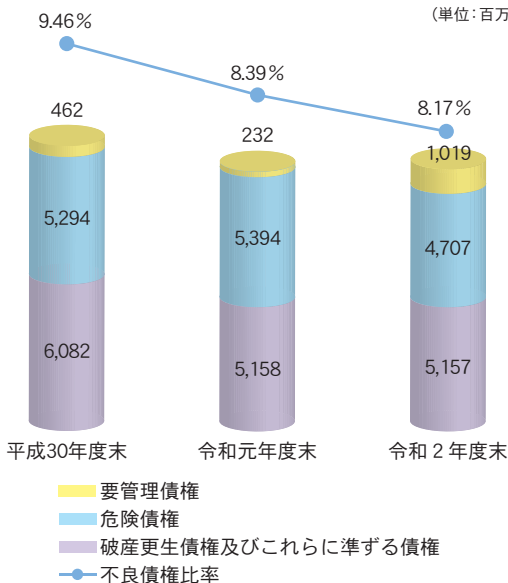
* 単体自己資本比率の状況

(単位: 百万円)



金融再生法開示債権の状況

(単位: 百万円)



1. 金融再生法開示債権は、貸出金のほかに債務保証見返、未収利息、私募債などを含みます。
2. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
3. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
4. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

第70期 貸借対照表

(令和3年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	5,564	預 金 積 金	332,067
預 け 金	124,441	当 座 預 金	6,778
買 入 金 銭 債 権	895	普 通 預 金	139,266
金 銭 の 信 託	1,100	貯 蓄 預 金	3,006
有 価 証 券	83,461	通 知 預 金	500
国 債	9,354	定 期 預 金	164,784
地 方 債	16,431	定 期 積 金	15,233
社 債	37,261	そ の 他 の 預 金	2,497
株 式	1,687	借 用 金	281
そ の 他 の 証 券	18,727	借 入 金	281
貸 出 金	131,234	そ の 他 負 債	539
割 引 手 形	866	未 決 済 為 替 借	63
手 形 貸 付	7,395	未 払 費 用	101
証 書 貸 付	115,931	給 付 補 填 備 金	14
当 座 貸 越	7,040	未 払 法 人 税 等	5
そ の 他 資 産	1,895	前 受 収 益	62
未 決 済 為 替 貸	46	払 戻 未 済 金	13
信 金 中 金 出 資 金	1,484	職 員 預 り 金	88
未 収 収 益	188	リ ー ス 債 務	133
そ の 他 の 資 産	175	資 産 除 去 債 務	15
有 形 固 定 資 産	2,655	そ の 他 の 負 債	40
建 物	1,546	賞 与 引 当 金	73
土 地	677	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	77
リ ー ス 資 産	133	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	19
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	298	偶 発 損 失 引 当 金	87
無 形 固 定 資 産	122	債 務 保 証	1,035
ソ フ ト ウ ェ ア	33	負 債 の 部 合 計	334,181
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	88	(純資産の部)	
前 払 年 金 費 用	57	出 資 金	1,030
繰 延 税 金 資 産	64	普 通 出 資 金	1,030
債 務 保 証 見 返	1,035	利 益 剰 余 金	12,023
貸 倒 引 当 金	△ 4,917	利 益 準 備 金	1,102
(うち個別貸倒引当金)	(△ 4,786)	そ の 他 利 益 剰 余 金	10,921
		特 別 積 立 金	10,600
		当 期 未 処 分 剰 余 金	321
		処 分 未 済 持 分	△ 25
		会 員 勘 定 合 計	13,028
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	400
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	400
		純 資 産 の 部 合 計	13,428
資 産 の 部 合 計	347,609	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	347,609

第70期 損益計算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
経常収益		3,962,160
資金運用収益	3,079,917	
貸出金利息	1,861,172	
預け金利息	126,720	
有価証券利息配当	1,048,768	
その他の受入利息	43,255	
役務取引等収益	462,685	
受入為替手数料	204,965	
その他の役務収益	257,719	
その他業務収益	65,677	
国債等債券売却益	31,356	
その他の業務収益	34,321	
その他経常収益	353,879	
償却債権取立益	222	
株式等売却益	264,069	
金銭の信託運用益	58,491	
その他の経常収益	31,095	
経常費用		3,460,766
資金調達費用	42,165	
預金利息	34,373	
給付補填備金繰入額	7,054	
借入金利息	307	
その他の支払利息	429	
役務取引等費用	333,780	
支払為替手数料	66,745	
その他の役務費用	267,035	
その他業務費用	225,524	
国債等債券償還損	22,940	
国債等債券償却	199,677	
その他の業務費用	2,906	
経常費用	2,766,488	
人件費	1,665,202	
物件費	1,044,022	
税	57,264	
その他経常費用	92,807	
貸倒引当金繰入額	44,220	
株式等売却損	2,309	
その他資産償却	4,727	
その他の経常費用	41,549	
経常利益		501,393
特別利益		86
その他の特別利益	86	
特別損失		206,918
固定資産処分損失	13,115	
減損損失	193,803	
税引前当期純利益		294,561
法人税、住民税及び事業税	5,662	
法人税等調整額	20,310	
法人税等合計		25,972
当期純利益		268,588
繰越金(当期首残高)		52,636
当期末処分剰余金		321,224

第70期 剰余金処分

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

科 目	金 額 (円)
当 期 未 処 分 剰 余 金	321,224,567
剰 余 金 処 分 額	270,067,503
普通出資に対する配当金(年1%)	10,067,503
特 別 積 立 金	260,000,000
繰 越 金(当 期 末 残 高)	51,157,064

以上のとおりであります。

令和3年6月25日



アルプス中央信用金庫

理 事 長	吉 澤 祥 文
常務理事	牧 田 和 弘
常務理事	原 英 則
常勤理事	地 田 俊 彦
常勤理事	田 中 久 弘
理 事	山 浦 速 夫
理 事	佐々木 正 博
理 事	馬 淵 泰 太 郎
理 事	吉 澤 文 男
常勤監事	唐 澤 伸 彦
監 事	高 坂 建 樹
員外監事	野 澤 章 泰

新型コロナウイルス感染症の対応について

新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

当金庫では、新型コロナウイルス感染症拡大により、事業活動へ直接的、間接的に影響を受けられた事業者の皆さまへの資金繰りのご相談に対応するため、各営業店に相談窓口を開設しております。各種資金等の新規のお借入のご相談や、既存のお借入のご返済条件の変更のご相談、また、所得の減少等の影響による個人のお客様のご返済の相談にも対応させていただきますのでご遠慮なくご相談下さい。

新型コロナウイルス感染症で 影響を受ける事業者の皆様へ

相談窓口を開設しています。私たちにご相談ください。

【平日】窓口での相談 9:00～15:00

お電話による相談 9:00～17:00

【土曜・日曜】ローンセンターでの相談

10:00～17:00 (TEL 0265-98-8077)

アルプス中央信用金庫

詳しくは、最寄りの店舗までお気軽にお問い合わせください。

連絡先のお問い合わせはTEL 0265-72-4171 (代表) までご連絡ください。

店舗のご案内

◎本店営業部	伊那市荒井3438番地1	(0265)72-4171
◎赤穂営業部	駒ヶ根市北町8番14号	(0265)82-3151
◎宮田支店	宮田村3320番地3	(0265)85-3300
◎飯島支店	飯島町飯島1445番地1	(0265)86-3147
◎上片桐支店	松川町上片桐3647番地	(0265)37-2121
◎赤穂東支店	駒ヶ根市東町8番10号	(0265)82-6131
◎福岡支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8(南支店内)	(0265)82-3141
◎中川支店	中川村片桐4080番地1	(0265)88-3333
◎南支店	駒ヶ根市赤穂10790番地8	(0265)82-5507
◎アルプス支店	駒ヶ根市赤穂1293番地2	(0265)81-1311
◎伊那北支店	伊那市山寺3174番地7	(0265)72-3118
◎辰野支店	辰野町大字辰野1636番地9	(0266)41-0005
◎箕輪支店	箕輪町大字中箕輪9489番地1	(0265)79-2205
◎高遠支店	伊那市高遠町西高遠1660番地1	(0265)94-2133
◎小野支店	辰野町大字小野1270番地1	(0266)46-3131
◎宮木支店	辰野町大字辰野1636番地9(辰野支店内)	(0266)41-3481
◎春近支店	伊那市西春近5242番地2	(0265)78-6969
◎竜東支店	伊那市中央4697番地1	(0265)73-3172
◎南箕輪支店	南箕輪村3115番地1	(0265)76-1011
◎信大前支店	南箕輪村8304番地72	(0265)76-5551
◎いほく支店	箕輪町大字中箕輪1850番地	(0265)79-1300

店舗外キャッシュコーナーのご案内

駒ヶ根地区

- ◎駒ヶ根駅前ビル「アルパ」
- ◎宮の前出張所
中沢出張所
- ◎ベルシャイン駒ヶ根店
- ◎ニシザワ福岡食彩館

飯島・中川地区

- ◎七久保コミュニティーセンター
大草出張所

辰野地区

- ◎辰野町役場前
- ◎宮木出張所
- ◎ニシザワ辰野食彩館

伊那地区

- ◎伊那市駅前ビル「いなっせ」
伊那市役所
伊那中央病院
伊那東出張所
野底出張所
みすず出張所
- ◎ベルシャイン伊那店
- ◎ニシザワ双葉食彩館
- ◎ニシザワ春近食彩館
- ◎ニシザワ高遠食彩館
- ◎アビタ伊那店

箕輪・南箕輪地区

- ◎箕輪ショッピングセンター
- ◎ベルシャイン箕輪店
- ◎ベルシャイン伊北店
- ◎ニシザワ信大前食彩館